第21講　国際社会への復帰と高度成長
PART3 戦後の経済成長

Chapter 1　戦後の経済成長

目標
高度経済成長とは何だろう？
“第２の開国”ともいわれる事態は何だろう？

1　高度経済成長の開始

外国技術の積極的導入・外資提携による**技術革新**が起こり，
「投資が投資を呼ぶ」といわれる**設備投資**により生産量が激増，
大衆消費社会が形成された。
※終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による
　労資協調の３点を特徴とする**日本的経営**が確立。
1950年～特需景気（～53年）・日本輸出銀行の設置
1951年　鉱工業生産が戦前の水準を上回る→綿織物などの軽工業が中心
1952年　IMF〔国際通貨基金〕・IBRD〔世界銀行・国際復興開発銀行〕に加盟
　　日本輸出銀行が日本輸出入銀行に発展・企業合理化促進法の制定
1955年～〔1　　　　〕**景気**（～57年）→〔2　　　　　　　　〕のスタート
　　日本生産性本部の設置・戦前のGNP〔国民総生産〕を超える
　　政・官界の「**55年体制**」と産業界の「**春闘**」方式がスタート
　　GATT〔関税及び貿易に関する一般協定〕に加盟
　　※ドルを基軸通貨とし，自由・無差別・多国間交渉主義を原則とする
　　　IMF・GATT体制（ブレトン＝ウッズ体制）に組み込まれた。
1956年　『経済白書』に「**もはや**〔3　　　　〕**ではない**」と記載
1957年～なべ底不況（～58年）
1958年～〔4　　　　〕**景気**　（～61年）
　　※「**三種の神器（白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫）**」の登場。
1960年　第二次岸信介内閣により「貿易為替自由化計画大綱」が作成される。
　　※以後，貿易・為替・資本の自由化（＝“第２の開国”）が進行。

2 高度経済成長政策

①石炭エネルギーから〔5　　　　〕エネルギーへの転換が進行→**エネルギー革命**

②石油化学工業・電子工業など重化学工業を中心に新産業部門が急成長。

③新幹線・高速自動車道など，大量高速輸送網の建設。

④第一次産業から第二次・第三次産業への大規模な労働力移行が進行し産業構造が高度化，国内市場を拡大しつつ輸出競争力を飛躍的に高める。

※1950 ～ 60 年代，中卒で大都市に**集団就職**する「金の卵」が大量に存在した。

⑤アメリカなどの要望に沿い貿易の自由化・資本の自由化を進め，開放経済体制に移行。

※1960 年代後半以降は大幅な**貿易黒字**が続いた。

1960 年　第二次池田勇人内閣により高度経済成長政策・所得倍増計画がスタート。

1962 年　**日中準政府間貿易〔LT 貿易〕**の開始

※廖承志・高碕達之助の頭文字をとり命名。

1963 年　**GATT** 12 条国から

11 条国（国際収支を理由に輸入制限をできない＝**貿易の自由化**）に移行

中小企業近代化促進法・中小企業基本法の公布→「中堅企業」の活躍

オリンピック景気（～ 64 年）

1964 年　**IMF** 14 条国から

8 条国（国際収支を理由に為替管理を行えない＝**為替の自由化**）に移行

OECD〔経済協力開発機構〕に加盟し**資本の自由化**を義務付けられる

1965 年　（昭和）40 年不況→翌年に戦後初の赤字国債発行

〔6　　　　　　〕**景気**〔ベトナム特需〕（～ 70 年）

※「**新三種の神器〔3C〕（カー・クーラー・カラーテレビ）**」の登場。

1968 年　西ドイツを抜きアメリカに次ぐGNP**資本主義国第 2 位**の**経済大国**となる

※「消費は美徳」とする**消費革命**が起こり，**核家族**化した人々に**中流意識**も発生。

1970 年　八幡製鉄と富士製鉄が合併し新日本製鐵に，米の**減反政策**スタート

1972 年　列島改造ブーム（～ 73 年）

流通革命

※中内㓛が設立したスーパーのダイエーが老舗百貨店三越の売り上げを抜く。

まとめ　年約 10％の成長を続けた日本の経済成長を，高度経済成長という。
1960 年代に貿易・為替・資本の自由化が進み“第 2 の開国”状態だった。

Chapter 2　高度経済成長の要因と問題点

目標　公害対策が遅れたのはなぜだろう？
現在も続く高度成長期の問題を自分に引き寄せて考えてみよう。

1　高度経済成長の要因

①円安状態で維持された**固定為替相場制**→ 1 ドル =360 円

1971 年の**ドル = ショック**で 308 円に。1973 年から変動為替相場制へ。

②アラブ諸国からの**安価な石油の安定供給**

1973 年の**第一次オイル = ショック〔石油危機〕**で不安定に。

③増え続ける人口と**高い義務教育水準→**高校進学率も高まる

良質な労働力を農村部から都市部へと輩出。集団就職も盛んだった。

④高い貯蓄率

銀行を通じて各企業に融資され，積極的な〔1　　　　　　　〕が行われる。

⑤その他

A　自由民主党一強の「55 年体制」による**保守政権の安定**

B　企業別労働組合の「春闘」方式による**労使関係の安定**

社会党の支持基盤である日本労働組合総評議会〔総評〕が主導。

※1964 年には全日本労働総同盟〔同盟〕も結成され，
民主社会党（のちの民社党）の支持基盤となった。

C　国際イベントの開催→夏季・冬季五輪や万博

D　科学技術の発達による〔2　　　　　　　〕とインフラ整備

E　増え続ける人口と人々の旺盛な消費活動

1964 年に海外渡航も自由化。国内・海外ともに団体旅行が流行した。

2　高度経済成長の問題点

①〔3　　　　〕問題

美濃部亮吉

大衆消費社会が形成されていく過程で，生産面の技術革新はあっても，
それに伴う有害な副産物への対処技術はいまだ有していなかった。

1960 年代から住民運動が広がり，
のち東京都知事の**美濃部亮吉**に限らず，各地の地方公共団体に「**革新首長**」が誕生した。

A　**四大公害訴訟**→ 1973年に全て原告側が勝訴

あ　〔4　　　　　　　〕（**熊本県**・鹿児島県の八代海）**→有機水銀**

い　**イタイイタイ病**（**富山県神通川**下流域）**→カドミウム**

う　**第二水俣病〔新潟水俣病〕**（**新潟県阿賀野川**下流域）**→有機水銀**

え　**四日市ぜんそく**（**三重県四日市市**）→石油化学コンビナートの**亜硫酸ガス**

B　典型7公害

騒音，振動，悪臭，〔5　　　　　　　〕，土壌汚染，**水質汚濁**，地盤沈下。

1967年　〔6　　　　　　　〕の制定

1970年　公害対策基本法を全面改正→第一条「調和条項」を削除

1971年　**環境庁**の設置

1993年　**環境基本法**の制定

2001年　省庁再編により環境庁が**環境省**に昇格

②人口問題

A　都市の〔7　　　　〕問題

核家族の住む**ニュータウン**や住宅団地の建設が各地で計画された。

※都市部の人口空洞化＝〔8　　　　　　　〕**現象**や，

無秩序・無計画な郊外の開発＝**スプロール現象**も起こった。

B　農村の〔9　　　　〕問題→限界集落も存在

※兼業農家が増加。若い働き手が都市に流出し，

人手不足から農業は停滞し食料自給率が低下した。

③その他

通勤・通学ラッシュ，交通渋滞，交通事故の急増（「交通戦争」），ゴミ処理問題，巨大企業と中小企業との企業間格差，モーレツ社員，高等教育の大衆化と受験熱の高まりなど。

※部落差別問題，在日朝鮮人・韓国人問題，

アイヌ問題などの**人権問題**も注目されるようになった。

※1968 ～ 69年，第一次ベビーブーマーである「団塊の世代」を中心に大学・高校で**学園紛争**が起こったが，その後「無気力・無関心・無責任」の三無主義が広まった。

一方で，1970年前後には連合赤軍などの極左集団によるさまざまな事件が起こった。

まとめ

企業の利潤との調和を考えていたので，公害対策は遅れた。

過疎問題や人権問題など，高度成長期の問題は継続している。

第21講 PART 3 確認問題

1 日本的経営にあてはまるのはどれか。

① 職種別労働組合　② 職業別労働組合
③ 成果報酬型賃金　④ 終身雇用制

2 「三種の神器」に**あてはまらないもの**はどれか。

① 電気洗濯機　② 電気冷蔵庫
③ 自動車　④ 白黒テレビ

3 1964 年，日本が 14 条国から 8 条国に移行したのはどの機関か。

① IMF　② ILO
③ GATT　④ OECD

4 1966 年から 70 年まで続いた景気はどれか。

① いざなぎ景気　② 岩戸景気
③ 特需景気　④ 神武景気

5 高度経済成長の要因はどれか。

① 革新政権の安定　② 変動為替相場制
③ 高い義務教育水準　④ 高価な石油の安定供給

6 イタイイタイ病はどの川の下流域で発生したか。

① 富士川　② 神通川
③ 阿賀野川　④ 常願寺川

7 四大公害病のうち，カドミウムが原因で発生したのはどれか。

① 水俣病　② イタイイタイ病
③ 新潟水俣病　④ 四日市ぜんそく

8 公害への対応のため，1967 年に制定された法律はどれか。

① 公害対策基本法　② 工場法
③ 公害防止条例　④ 環境基本法

第 21 講　PART 3　確認問題　解答

1 解答：④　**終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合**による労資協調の３点を特徴とする日本的経営が確立。

2 解答：③　自動車（カー）は，クーラー，カラーテレビとともに「**新三種の神器〔3C〕**」と呼ばれた。

3 解答：①　**IMF**〔国際通貨基金〕の８条国（国際収支を理由に為替管理を行えない＝為替の自由化）に移行。③の**GATT**〔関税及び貿易に関する一般協定〕については，1962 年に 12 条国から 11 条国（国際収支を理由に輸入制限をできない＝貿易の自由化）に移行した。

4 解答：①　②の**岩戸景気**は 1958 ～ 61 年，③の**特需景気**は 1950 ～ 53 年，④の**神武景気**は 1955 ～ 57 年の好景気。

5 解答：③　高度経済成長の要因としては，自由民主党一強の「55 年体制」による**保守政権**の安定，円高状態で維持された**固定為替相場制**，アラブ諸国からの安価な石油の安定供給などが挙げられる。

6 解答：②　③の阿賀野川下流域では，**第二水俣病〔新潟水俣病〕**が発生した。

7 解答：②　①の水俣病と③の新潟水俣病は**有機水銀**，④の四日市ぜんそくは**亜硫酸ガス**を原因として発生した。

8 解答：①　④の**環境基本法**は 1993 年に制定された。